

# ブラジル・メキシコ・アルゼンチン 経済・金融概況 (2026年4月)

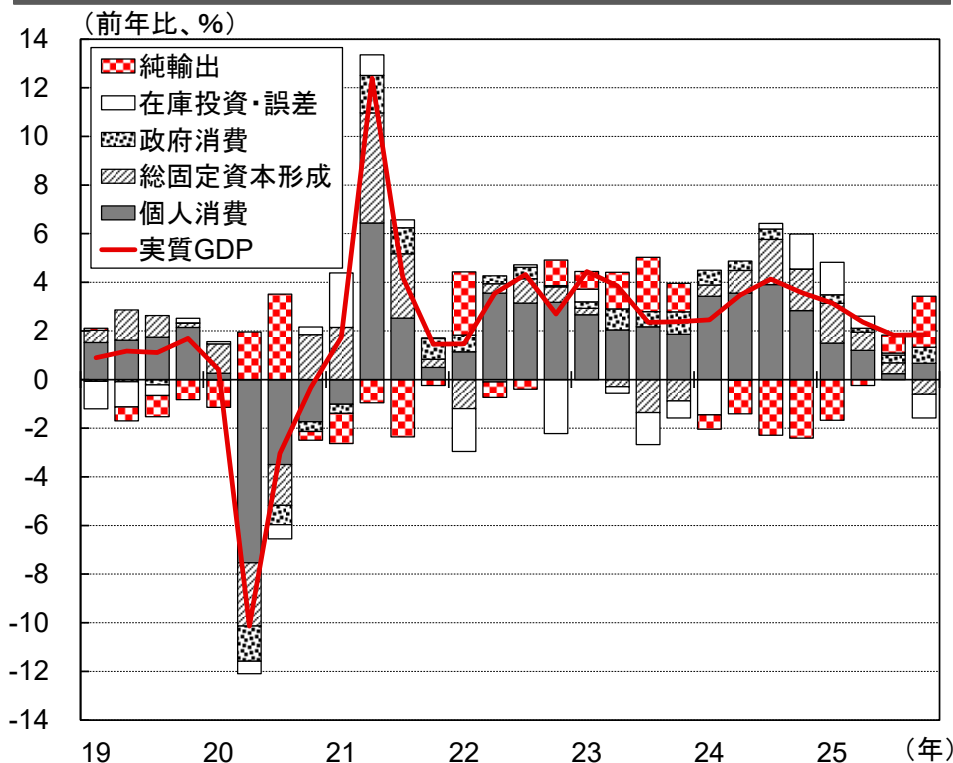
2026年4月24日

三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室

# 1. ブラジル (1) 景気概況

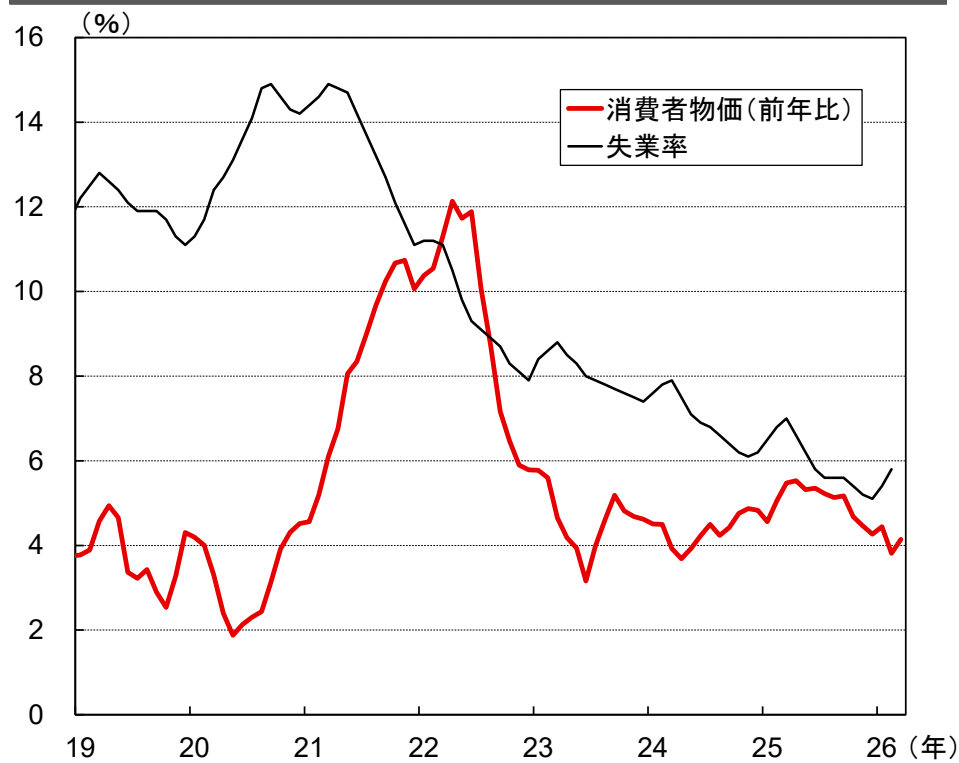
- 2025年10-12月期の実質GDP成長率は前年比+1.8%と、前期から横這いで推移。需要項目別の寄与度では、純輸出(同+2.1%ポイント)や個人消費(同+0.7%ポイント)はプラス幅が拡大した一方、総固定資本形成(同▲0.6%ポイント)はマイナス寄与に転じた。
- 2026年2月の失業率(未季節調整値)は5.8%と、前年同月の6.8%から低下。2021年をピークに下落傾向が継続。
- 同年3月の消費者物価指数は前年比+4.1%と、ブラジル中央銀行が定めるインフレ目標(前年比+3%±1.5%)内で推移。

実質GDP成長率の推移



(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

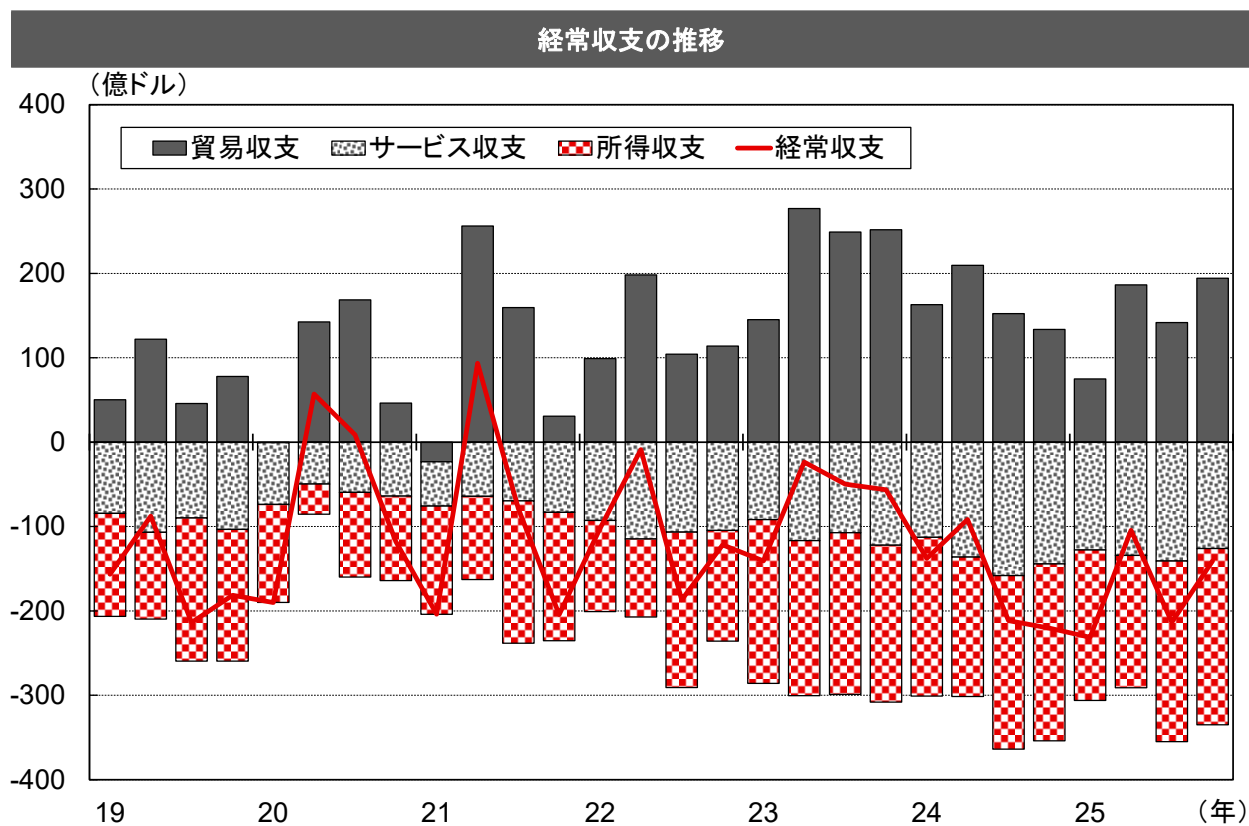
消費者物価上昇率と失業率の推移



(注)失業率は未季節調整値。  
(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

# 1. ブラジル (2) 経常収支

- 2025年10-12月期の経常収支は▲141億ドルと、前年同期の▲220億ドルから赤字幅が縮小した。
- 内訳をみると、貿易収支は+194億ドル(前年同期: +134億ドル)と黒字幅が拡大したほか、サービス収支は▲126億ドル(同: ▲144億ドル)、所得収支は▲209億ドル(同: ▲210億ドル)とそれぞれ赤字幅が小幅に縮小した。



(資料)ブラジル中央銀行統計より国際通貨研究所作成

# 1. ブラジル (3) 金融市場

- ブラジル中央銀行は2026年3月の金融政策委員会において、政策金利を2024年5月以来、約2年ぶりに0.25%ポイント引き下げ、14.75%とした。中東情勢の緊迫化に伴う外部環境の不確実性が増す中、長期の金融引き締めで国内の景気減速が進み、政策金利の調整が可能となったと発信している。ブラジルレアルの対ドル相場は、足元1ドル=5.0レアル前後で推移。
- 株価(ボベスパ指数)は2025年1月以降上昇傾向が続いており、足元190,000ポイントを越えて推移。ブラジル経済が鈍化傾向でありつつも底堅い推移をしていることや、世界的にリスク選好の流れが継続する中、他主要国の株価指数と比して引き続き割安であることもあり(注)、足元でも株価が上昇している。

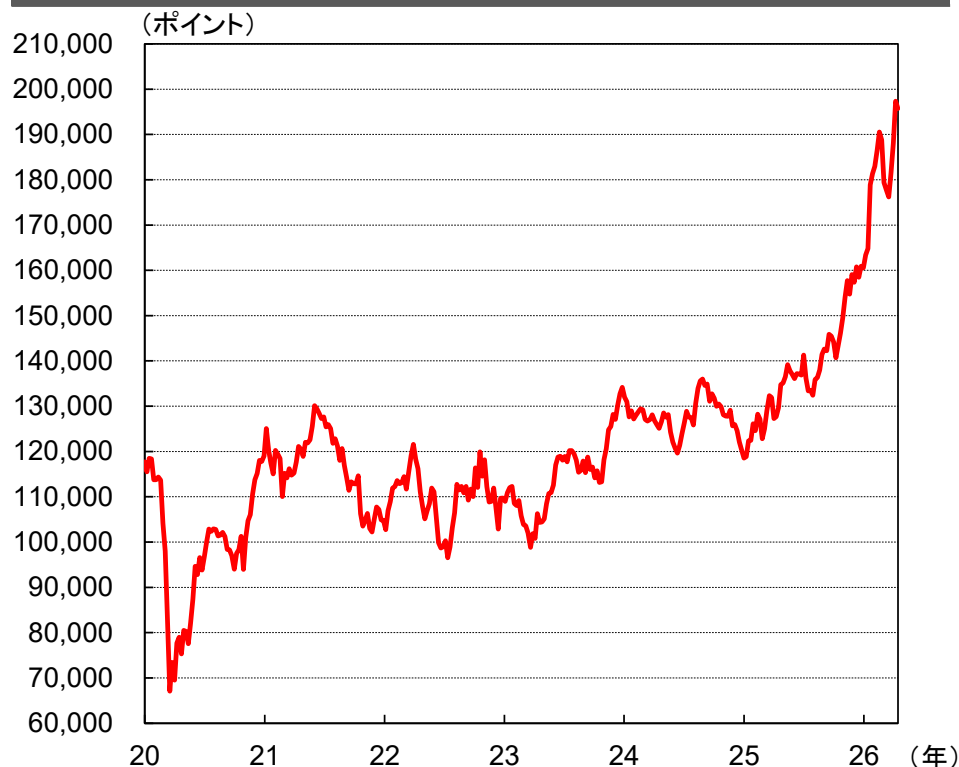
(注)2026年4月23日時点で、日経平均株価と米国S&P500の株価収益率(PER)はそれぞれ22.64、28.16であるのに対し、ボベスパ指数のPERは12.32と低水準であり、相対的に割安となっている。

ブラジルレアル(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボベスパ指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

# 1. ブラジル (4) 経済・金融概況

## ブラジルの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2023	2024	2025	25/1-3	4-6	7-9	10-12	25/12	26/1	2	3
実質GDP成長率(前年比、%)	(3.2)	(3.4)	(2.3)	(3.1)	(2.4)	(1.8)	(1.8)				
経済活動指数○	102.87	106.37	109.06	109.11	109.41	108.58	109.11	109.29	110.23	110.89	-
鉱工業生産(前期比、%)○	(0.3)	(2.7)	(0.8)	(0.2)	(0.2)	(0.1)	(▲0.6)	(▲2.0)	(2.1)	(0.9)	-
設備稼働率(%)○	(78.7)	(79.1)	(78.1)	(78.7)	(78.2)	(78.0)	(77.6)	(77.2)	(77.5)	(77.3)	-
小売売上高(前年比、%)	(1.7)	(4.2)	(1.6)	(1.4)	(2.6)	(0.8)	(1.6)	(2.4)	(2.7)	(0.2)	-
自動車国内販売台数(千台)	2,309	2,635	2,690	552	647	712	779	279	171	185	269
失業率(%)	(8.0)	(6.9)	(6.0)	(6.8)	(6.2)	(5.6)	(5.2)	(5.1)	(5.4)	(5.8)	-
消費者物価上昇率(IPCA) (前年比、%)	(4.6)	(4.4)	(5.0)	(5.0)	(5.4)	(5.2)	(4.5)	(4.3)	(4.4)	(3.8)	(4.1)
卸売物価上昇率(前年比、%)	(▲6.1)	(0.5)	(3.9)	(9.1)	(7.1)	(2.0)	(▲2.0)	(▲3.3)	(▲3.2)	(▲5.5)	(▲4.2)
輸出(FOB)(億ドル)	3,397	3,370	3,483	775	893	926	908	309	247	264	-
(前年比、%)	(1.7)	(▲0.8)	(3.3)	(▲1.2)	(▲0.8)	(4.5)	(9.9)	(23.0)	(▲3.3)	(14.8)	-
輸入(FOB)(億ドル)	2,408	2,629	2,802	701	709	790	714	224	218	229	-
(前年比、%)	(▲11.7)	(9.2)	(6.6)	(12.7)	(2.6)	(7.5)	(3.1)	(6.6)	(▲10.1)	(▲5.1)	-
貿易収支(億ドル)	923	658	597	74	184	137	194	85	30	35	-
経常収支(億ドル)	▲271	▲662	▲690	▲232	▲114	▲224	▲141	▲37	▲89	▲56	-
直接投資ネット流入(億ドル)	628	741	777	230	130	274	155	▲52	82	68	-
外貨準備高(億ドル)◎	3,170	2,827	2,981	2,918	2,938	3,089	2,981	2,981	3,011	3,058	2,998
ベースマネー(億リアル)◎	4,227	4,512	4,471	4,433	4,510	4,297	4,471	4,471	4,504	4,492	4,389
政策金利(Seric Target rate)◎	(11.75)	(12.25)	(15.00)	(14.25)	(15.00)	(15.00)	(15.00)	(15.00)	(15.00)	(15.00)	(14.75)
対米ドル為替相場◎	4.841	6.192	5.502	5.742	5.457	5.318	5.502	5.502	5.230	5.149	5.219
株価指数(ボベスパ指数)◎	134,185	120,283	161,125	130,260	138,855	146,237	161,125	161,125	181,364	188,787	187,462

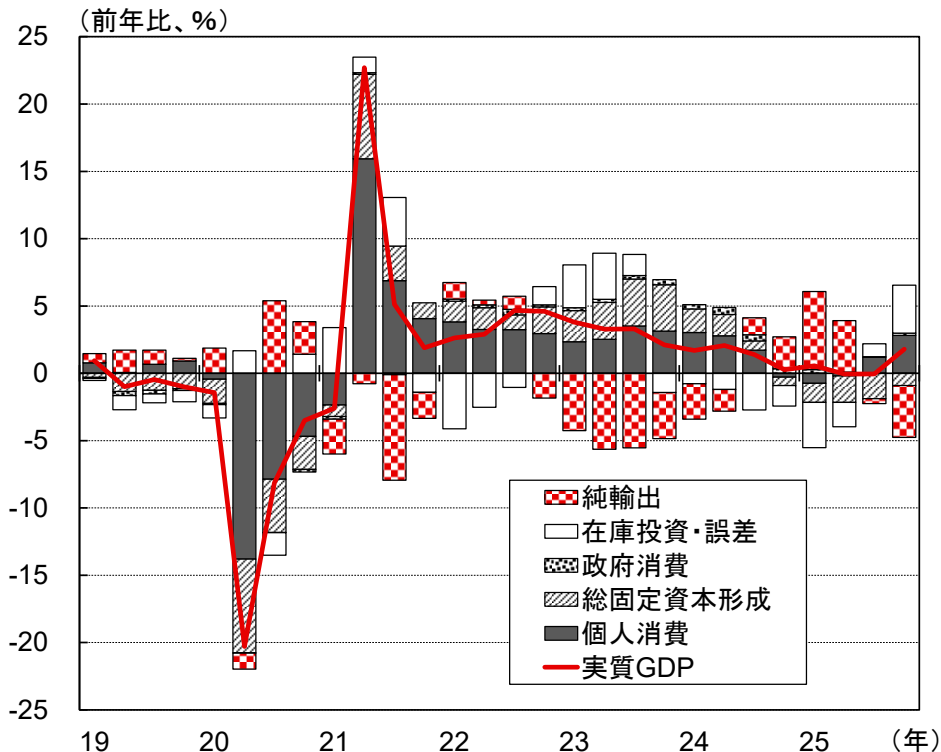
(注)◎印: 期末値、○印: 季節調整値

(資料) ブラジル中銀、ブラジル地理統計院 (IBGE)、世界銀行、サンパウロ証券取引所より国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (1) 景気概況

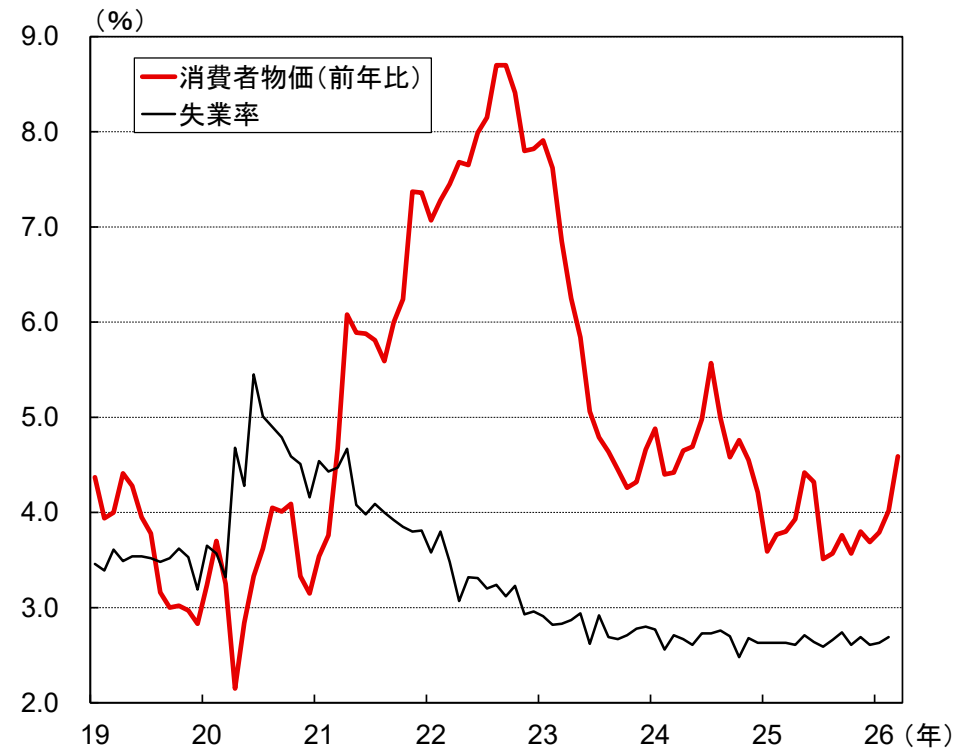
- 2025年10-12月期の実質GDP成長率は前年比+1.8%と、前期(同▲0.1%)から大幅に加速。需要項目別の寄与度では、純輸出(同▲3.8%ポイント)はマイナス幅が拡大した一方、個人消費(同2.8%ポイント)はプラス幅が大きく拡大したほか、総固定資本形成(同▲0.9%ポイント)はマイナス幅が縮小した。
- 2026年2月の失業率は2.7%と引き続き低位で推移している。
- 2026年3月の消費者物価上昇率は、農産物価格の急騰などを背景に前年比+4.6%と大幅に加速し、メキシコ銀行が定めるインフレ目標(前年比+3%±1%)を上回った。

実質GDP成長率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

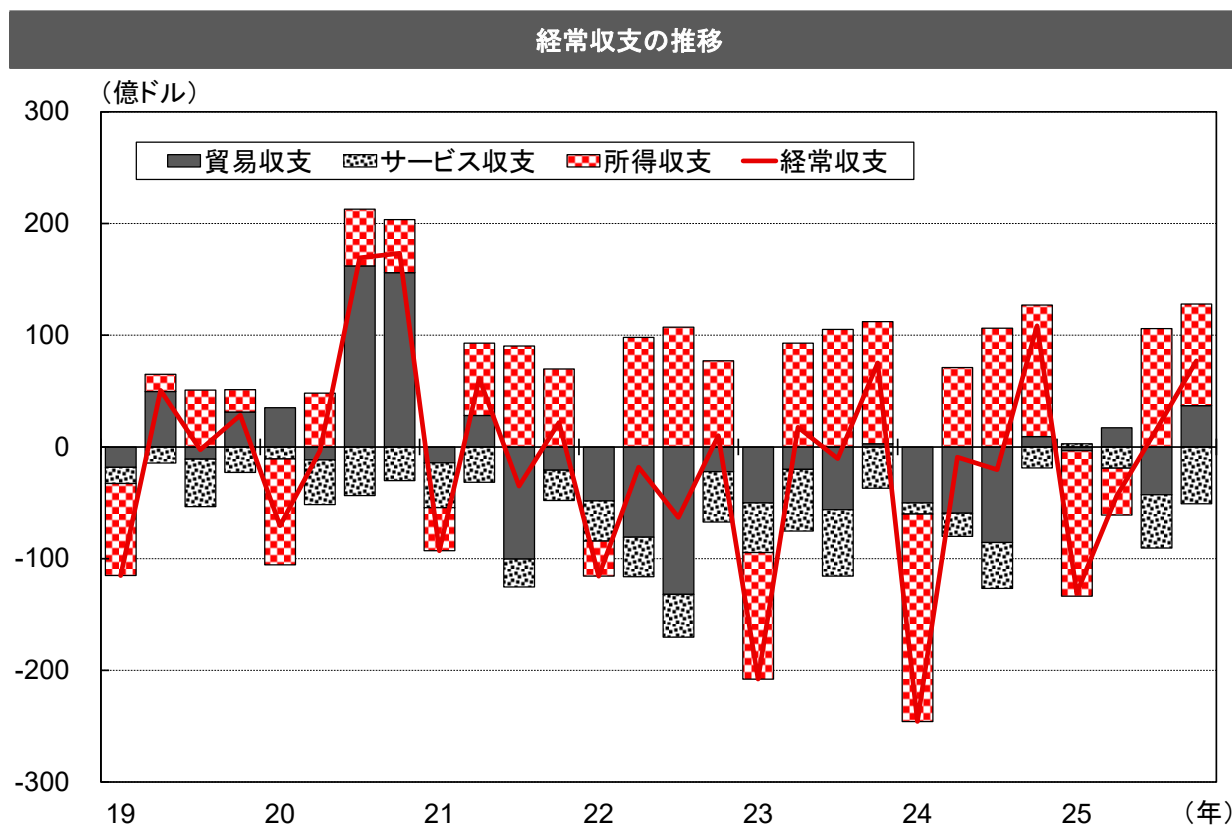
消費者物価上昇率と失業率の推移



(資料) 国立統計地理情報院統計より国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (2) 経常収支

- 2025年10-12月期の経常収支は+77億ドルと、前年同期の+108億ドルから黒字幅が縮小した。
- 内訳をみると、貿易収支は+37億ドル(前年同期: +9億ドル)と黒字幅が拡大した一方、サービス収支は▲51億ドル(同: ▲19億ドル)と赤字幅が拡大し、所得収支は+91億ドル(同: +118億ドル)と黒字幅が縮小した。



(資料)メキシコ中央銀行統計より国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (3) 金融市場

- メキシコペソの対ドル相場はペソ高の動きが継続しており、足元1ドル＝18ペソを下回って推移。米ドル安の進行に加え、メキシコでは利下げ後もなお相対的に高い金利水準が維持されていることや、米国の関税政策のメキシコへの影響が当初の懸念程大きくない(負担が重くない)という見方などによって、ペソ高が進行していると考えられる。
- メキシコ銀行(中銀)は段階的な利下げを続けており、2026年3月の金融政策決定会合において、政策金利を6.75%に引き下げた。足元のペソ高やこれまでの累積的な金融引き締め効果などを踏まえた利下げであると発表している。
- 株価(ボルサ指数)は、2025年4月以降大きく上昇し、足元は70,000ポイント前後で推移。ブラジルのボブスパ指数と同様に、世界的なリスク選好の流れの中、他主要国の株価指数と比して引き続き割安であることも<sup>(注)</sup>、株価上昇の一因となっている。  
(注)2026年4月23日時点で、ボルサ指数のPERは14.8であり、こちらも相対的に割安となっている。

メキシコペソ(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(ボルサ指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

## 2. メキシコ (4) 経済・金融概況

### メキシコの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2023	2024	2025	25/1-3	4-6	7-9	10-12	25/12	26/1	2	3
実質GDP成長率(前年比、%)	(3.1)	(1.4)	(0.6)	(0.6)	(▲0.1)	(▲0.1)	(1.8)				
鉱工業生産(前期比、%)○	(3.0)	(▲0.6)	(▲1.1)	(0.1)	(0.3)	(▲1.3)	(1.0)	(0.1)	(▲1.1)	(0.4)	—
自動車生産台数(千台)	3,779	3,989	3,959	968	1,045	1,015	934	244	304	311	344
自動車販売台数(千台)	1,361	1,490	1,508	365	344	366	433	154	131	118	132
原油産出量(千バレル/日)*	1,875	1,759	1,635	1,615	1,631	1,648	1,648	1,660	1,655	1,646	—
(前年比、%)	(5.1)	(▲6.2)	(▲7.0)	(▲11.3)	(▲8.6)	(▲6.5)	(▲1.3)	(2.6)	(2.4)	(1.6)	—
原油輸出価格(米ドル/バレル)	70.9	70.3	61.0	64.9	61.0	61.5	56.4	55.6	56.0	59.1	—
失業率(%)○	(2.8)	(2.7)	(2.7)	(2.6)	(2.7)	(2.7)	(2.6)	(2.6)	(2.6)	(2.7)	—
消費者物価上昇率(前年比、%)	(5.5)	(4.7)	(3.8)	(3.7)	(4.2)	(3.6)	(3.7)	(3.7)	(3.8)	(4.0)	(4.6)
輸出(FOB)(億ドル)	5,930	6,177	6,648	1,489	1,638	1,689	1,832	607	480	569	—
(前年比、%)	(2.6)	(4.2)	(7.6)	(3.7)	(4.9)	(8.2)	(13.1)	(17.2)	(8.1)	(15.8)	—
輸入(CIF)(億ドル)	6,053	6,362	6,641	1,492	1,621	1,733	1,795	582	545	573	—
(前年比、%)	(▲0.1)	(5.1)	(4.4)	(0.4)	(0.1)	(5.2)	(11.5)	(16.7)	(9.8)	(20.8)	—
経常収支(億ドル)	▲125	▲167	▲82	▲123	▲18	23	77				
資本収支(億ドル)	▲0	▲1	▲0	0	▲0	▲0	▲0				
外貨準備高(億ドル)◎	2,128	2,290	2,519	2,373	2,417	2,473	2,519	2,519	2,556	2,578	2,546
ベースマネー(億ペソ)◎	29,605	32,934	35,450	32,512	32,523	32,891	35,450	35,450	35,088	34,600	35,030
政策金利◎	(11.25)	(10.00)	(7.00)	(9.00)	(8.00)	(7.50)	(7.00)	(7.00)	(7.00)	(7.00)	(6.75)
対米ドル為替相場◎	16.92	20.79	18.00	20.44	18.83	18.33	18.00	18.00	17.33	17.22	18.00
株価指数(ボルサ指数)◎	57,386	49,513	64,308	52,484	57,451	62,916	64,308	64,308	67,599	71,406	68,611

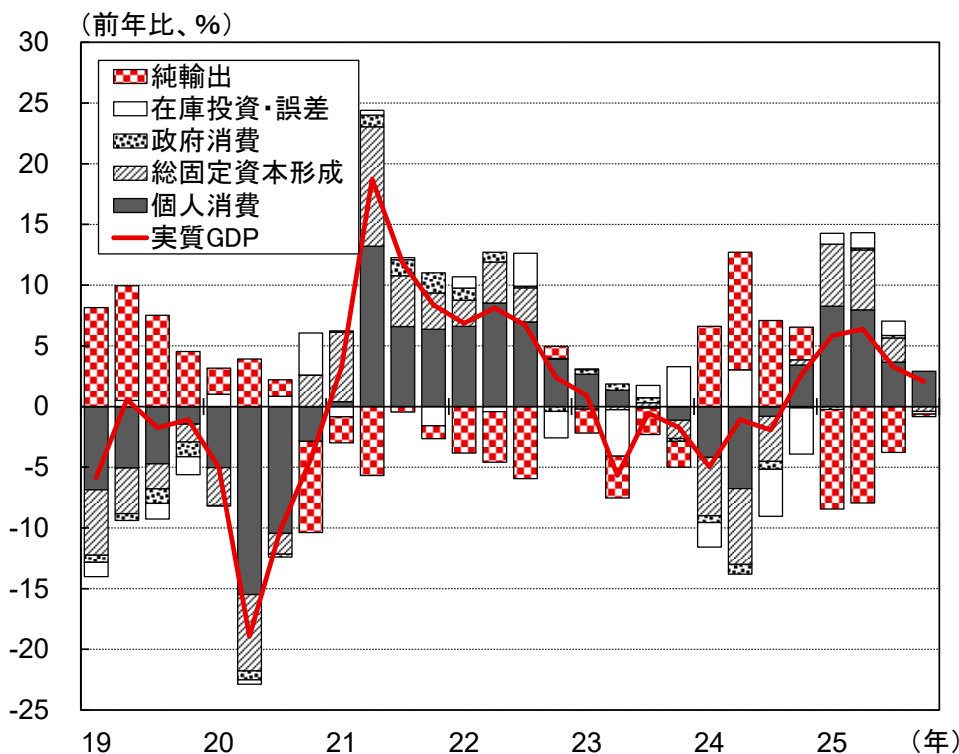
(注)\*印:期中平均値、◎印:期末値、○印:季節調整値

(資料)メキシコ中銀、国立統計地理情報院(INEGI)、PEMEXより国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (1) 景気概況

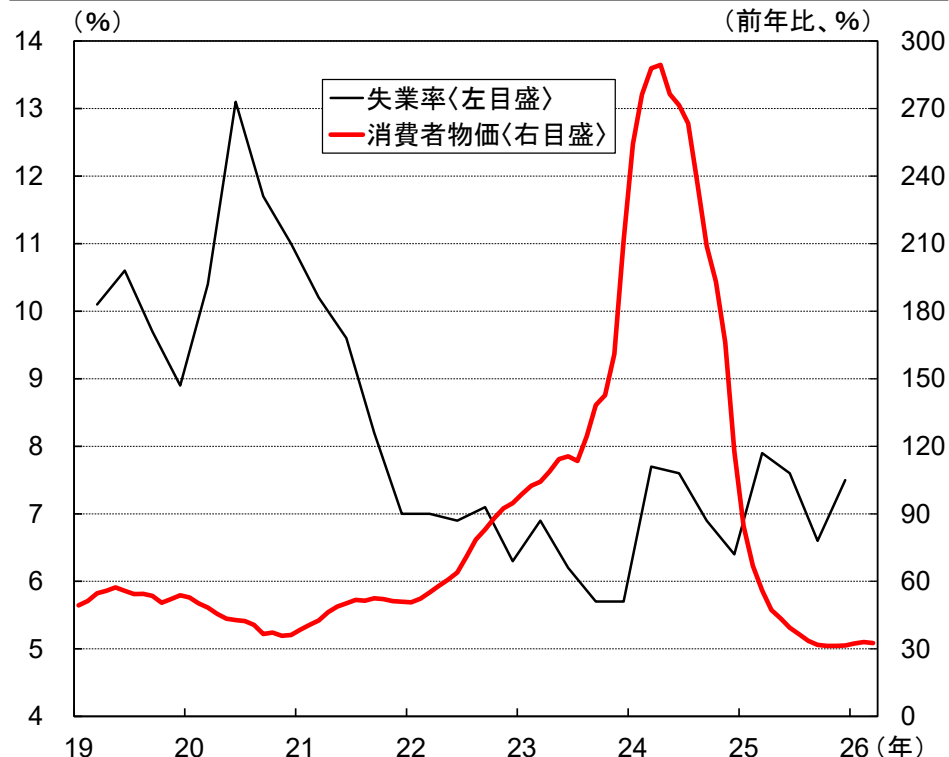
- 2025年10-12月期の実質GDP成長率は前年比+2.1%と、前期(同+3.3%)から減速した。需要項目別の寄与度では、純輸出(同▲0.2%ポイント)はマイナス幅が縮小した一方、個人消費(同+2.9%ポイント)はプラス幅が縮小し、総固定資本形成(同▲0.4%ポイント)はマイナス寄与に転じた。
- 2025年10-12月期の失業率(未季節調整値)は7.5%と前年同期の6.4%から上昇した。
- 消費者物価上昇率は2024年4月をピークとして減速傾向にあったものの、2025年10月以降ほぼ横這いで推移しており、2026年3月は前年比+32.6%となった。

実質GDP成長率の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

消費者物価上昇率と失業率の推移



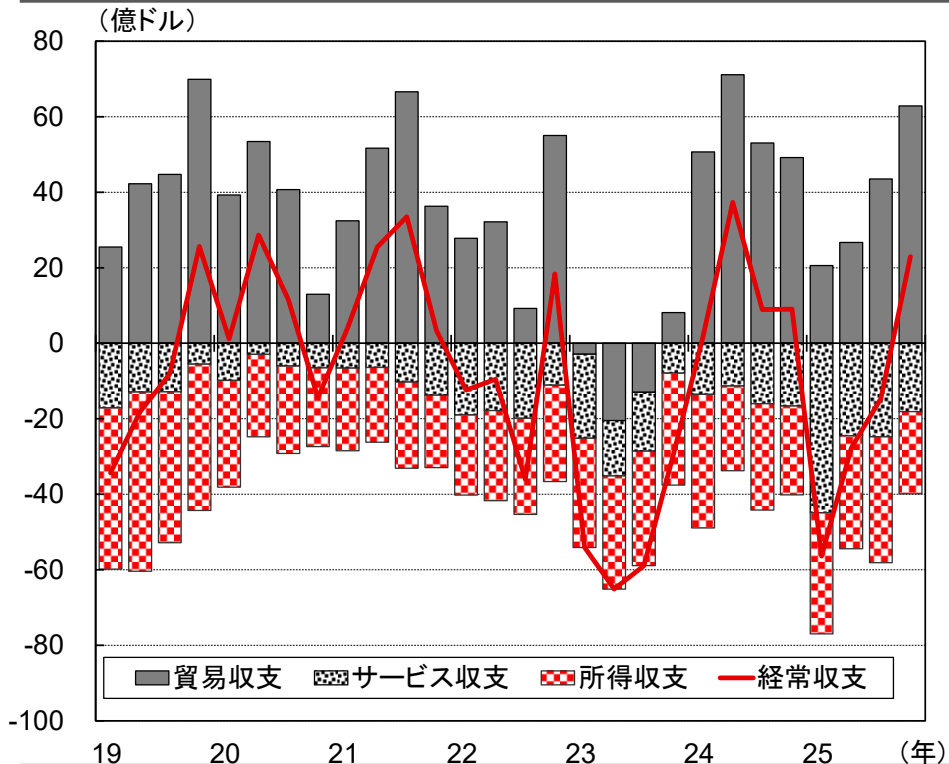
(注)失業率は未季節調整値。

(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (2) 経常収支・外貨準備高

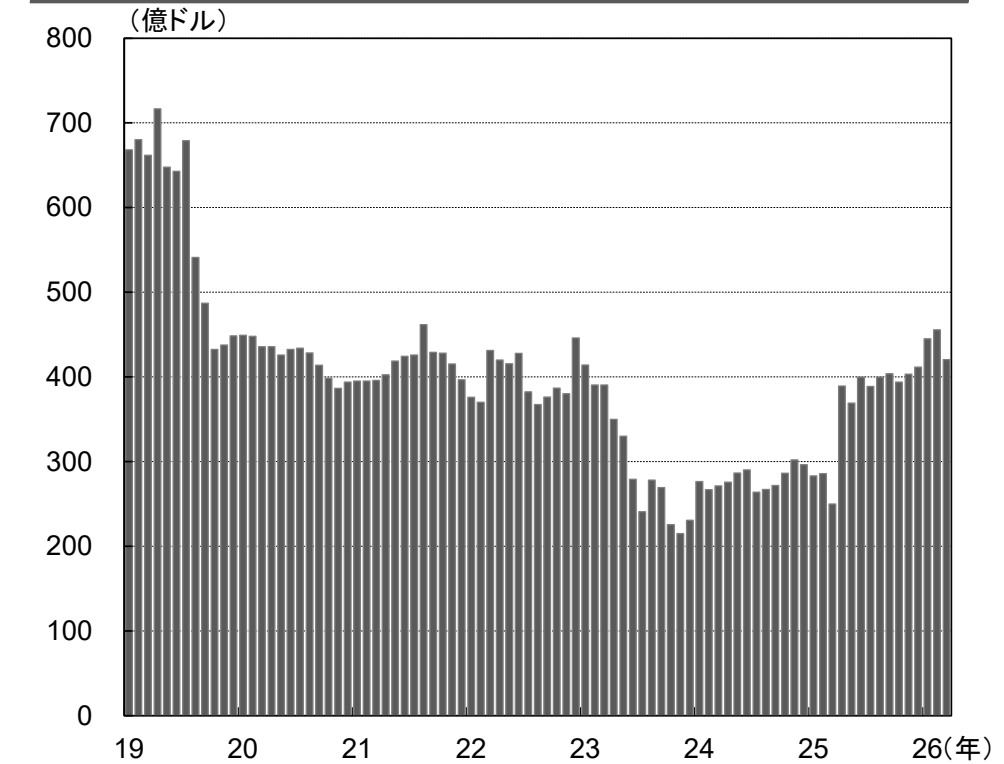
- 2025年10-12月期の経常収支は+23億ドルと、前年同期の+9億ドルから黒字幅が拡大した。
- 内訳をみると、貿易収支は+63億ドル(前年同期: +49億ドル)と黒字幅が拡大した。サービス収支は▲18億ドル(同: ▲17億ドル)とほぼ横這いとなり、所得収支は▲22億ドル(同: ▲24億ドル)と赤字幅がやや縮小した。
- 2026年3月末時点の外貨準備高は421億ドルと、2025年4月のIMFによる200億ドルの融資実行後は大きな変動はない。

経常収支の推移



(資料)アルゼンチン国家統計センサス局統計より国際通貨研究所作成

外貨準備高の推移

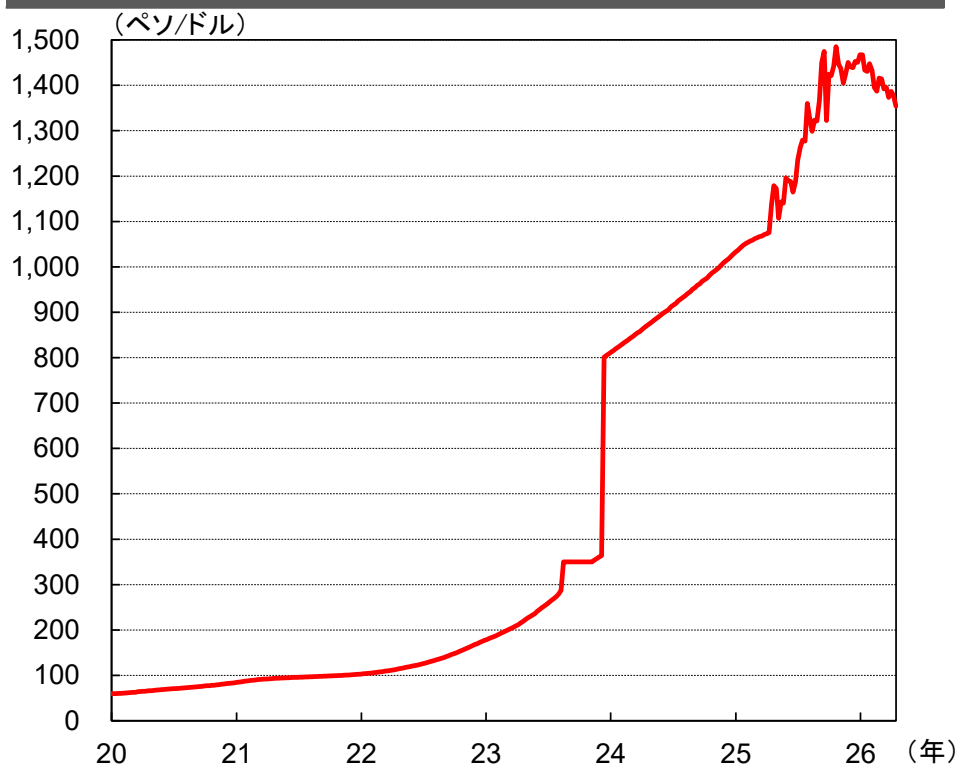


(資料)アルゼンチン中央銀行統計より国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (3) 金融市場

- アルゼンチン中央銀行は、完全な変動相場制への移行を目指して、2025年4月からアルゼンチンペソの為替バンド制を導入。アルゼンチンペソの対ドル相場(公定レート)は、足元1ドル=1,300ペソ台で推移。
- 政策金利は2025年1月に設定した29%での据え置きが続いている。
- 株価(メルバル指数)は、2025年年初から10月にかけて下落した後、上昇傾向に転じた。足元は調整局面を挟みながら3,000,000ポイント前後で推移している。ミレイ政権による財政改革をはじめとする諸改革の継続への期待が引き続き相場を下支えしている。

アルゼンチンペソ(対米ドル)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

株価(メルバル指数)の推移



(資料) Refinitiv Datastreamより国際通貨研究所作成

### 3. アルゼンチン (4) 経済・金融概況

#### アルゼンチンの主要経済指標

	年次			四半期次				月次			
	2023	2024	2025	25/1-3	4-6	7-9	10-12	25/12	26/1	2	3
実質GDP成長率(前年比、%)	(▲1.9)	(▲1.3)	(4.4)	(5.8)	(6.4)	(3.3)	(2.1)				
鉱工業活動指数(前年比、%)	(▲1.7)	(▲9.1)	(2.0)	(6.3)	(8.3)	(▲1.9)	(▲5.1)	(▲3.9)	(▲3.3)	(▲8.7)	-
建設活動指数(前年比、%)	(▲3.1)	(▲27.1)	(6.9)	(6.0)	(16.5)	(3.0)	(2.2)	(2.9)	(1.2)	(▲0.7)	-
自動車生産台数(千台)	611	507	491	114	136	129	112	26	21	30	42
自動車販売台数(千台)	407	411	587	128	171	156	131	51	34	36	41
失業率(%)	(6.1)	(7.2)	(7.4)	(7.9)	(7.6)	(6.6)	(7.5)				
消費者信頼感指数	41.1	39.5	44.5	46.3	45.0	42.0	44.6	45.6	46.6	44.4	42.0
消費者物価上昇率(前年比、%)	(133.5)	(219.9)	(41.7)	(68.0)	(43.3)	(33.9)	(31.4)	(31.5)	(32.4)	(33.1)	(32.6)
輸出(FOB)(億ドル)	670	797	871	187	211	238	236	75	72	60	-
(前年比、%)	(▲24.5)	(19.0)	(9.3)	(7.1)	(1.5)	(13.8)	(14.4)	(6.1)	(22.5)	(▲2.9)	-
輸入(CIF)(億ドル)	738	608	758	166	184	194	173	56	51	52	-
(前年比、%)	(▲9.7)	(▲17.7)	(24.7)	(34.2)	(34.8)	(24.6)	(10.2)	(3.5)	(▲12.1)	(▲11.8)	-
貿易収支(億ドル)	▲68	189	113	21	27	43	63	19	22	8	-
外貨準備高(億ドル)◎	231	296	412	250	400	404	412	412	445	456	421
ベースマネー(億ペソ)◎	96,080	297,286	429,570	305,342	371,756	422,956	429,570	429,570	428,123	409,867	412,778
対民間部門貸出量(億ペソ)◎	237,481	784,570	1,365,335	938,425	1,104,587	1,242,008	1,365,335	1,365,335	1,395,365	1,410,504	-
(前年比、%)	(161.4)	(230.4)	(74.0)	(198.5)	(153.1)	(110.2)	(74.0)	(74.0)	(67.3)	(59.7)	-
経常収支(億ドル)	▲208	57	▲76	▲56	▲28	▲16	23				
対米ドル為替相場◎	808.48	1,032.50	1,459.42	1,073.88	1,194.08	1,366.58	1,459.42	1,459.42	1,447.67	1,408.97	1,382.76
株価指数(メルバル指数)◎	929,704	2,533,635	3,051,617	2,338,761	1,994,825	1,773,440	3,051,617	3,051,617	3,199,554	2,642,105	2,997,780

(注)◎印:期末値

(資料)アルゼンチン中銀、国家統計センサス局、経済省、アルゼンチン大学、OECD、アルゼンチン経済省より国際通貨研究所作成

---

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。

会社名：株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室  
〒100-8388 東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行本店ビル

照会先：国際通貨研究所 森川 央 morikawa@iima.or.jp  
小宮 佳菜 kana\_komiya@iima.or.jp